

2020年2月期第2四半期の 営業状況について

このプレゼンテーション資料には将来の見通しが含まれています。これらの見通しや意見は、社内資料やその他の信頼するに足りると思われる資料をもとに作成していますが、将来の業績を保証するものではありません。よって、実際の売上高や利益等は、ここに記載されている内容と異なる場合があることをご承知おきください。

久光製薬株式会社

2019年10月10日

貼付剤による治療文化を世界へ

1

要 旨

1. 2020年2月期第2四半期の振り返り
2. 2020年2月期の進捗について
3. 連結損益
4. 地域別売上高
5. 商品別売上高
6. 国内医療用第2世代貼付剤の動向
7. 研究開発パイプライン

貼付剤による治療文化を世界へ

2

1. 2020年2月期第2四半期の振り返り(1)

医療用 医薬品	5月	・HP-3150(経皮吸収型 非ステロイド性疼痛治療剤)の がん疼痛に対する国内第Ⅲ相比較臨床試験の終了 ・HP-5070(経皮吸収型 原発性局所多汗症治療剤)の 国内第Ⅱ相臨床試験の終了
	6月	・経皮吸収卵胞・黄体ホルモン製剤「メノエイド®コンビパッチ」の 製造販売承認の承継および販売移管
	8月	・HFT-290(経皮吸収型 持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」)の オピオイド鎮痛剤未使用のがん疼痛患者への適応拡大に関する 承認事項一部変更承認申請

※9月 1日:経皮吸収卵胞・黄体ホルモン製剤「メノエイド®コンビパッチ」の
販売を開始

※9月20日:HP-3000(経皮吸収型 パーキンソン病治療剤「ハルロピ®テープ」)の
国内製造販売承認の取得

貼付剤による治療文化を世界へ

3

1. 2020年2月期第2四半期の振り返り(2)

「ハルロピ®テープ」(開発コード:HP-3000)について

販売名	ハルロピ®テープ8mg (HARUROPI® TAPE 8mg) ハルロピ®テープ16mg (HARUROPI® TAPE 16mg) ハルロピ®テープ24mg (HARUROPI® TAPE 24mg) ハルロピ®テープ32mg (HARUROPI® TAPE 32mg) ハルロピ®テープ40mg (HARUROPI® TAPE 40mg)
一般名	ロピニロール塩酸塩
効能・効果	パーキンソン病
用法・用量	通常、成人にはロピニロール塩酸塩として1日1回8mgから始め、以後経過を観察しながら、必要に応じて1週間以上の間隔で、1日量として8mgずつ増量する。いずれの投与量の場合も1日1回、胸部、腹部、側腹部、大腿部又は上腕部のいずれかの皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。なお、年齢、症状により適宜増減するが、ロピニロール塩酸塩として1日量64mgを超えないこととする。
製剤の大きさ	5.33cm ² (ハルロピ®テープ8mg) 10.67cm ² (ハルロピ®テープ16mg) 16.00cm ² (ハルロピ®テープ24mg) 21.33cm ² (ハルロピ®テープ32mg) 26.67cm ² (ハルロピ®テープ40mg)

貼付剤による治療文化を世界へ

4

1. 2020年2月期第2四半期の振り返り(3)

一般用医薬品

- 3月 ・「フェイタス[®]シツプ」「フェイタス[®]シツプ温感」新包装発売
- 4月 ・「こどもロビンアイ[®]プラス」新発売
- 6月 ・「エアー[®]サロンパス[®]ジェットα」25mL 新容量発売
- 7月 ・「のびのび[®]サロンシツプ[®]F」10枚入 新包装発売
- 8月 ・「フェイタス[®]Zαジクサス[®]ジェル」新発売



その他

- 3月 ・「エアー[®]サロンパス[®]アイシングスプレー」490mL(雑貨品) 新発売
- 4月 ・2018-19 V.LEAGUE DIVISION1女子 優勝(2年連続7度目)
- 5月 ・「サロンパス[®]」が世界No.1ブランドに3年連続の認定
- 7月 ・自己株式の取得および消却

※9月30日:自己株式の取得の終了

貼付剤による治療文化を世界へ

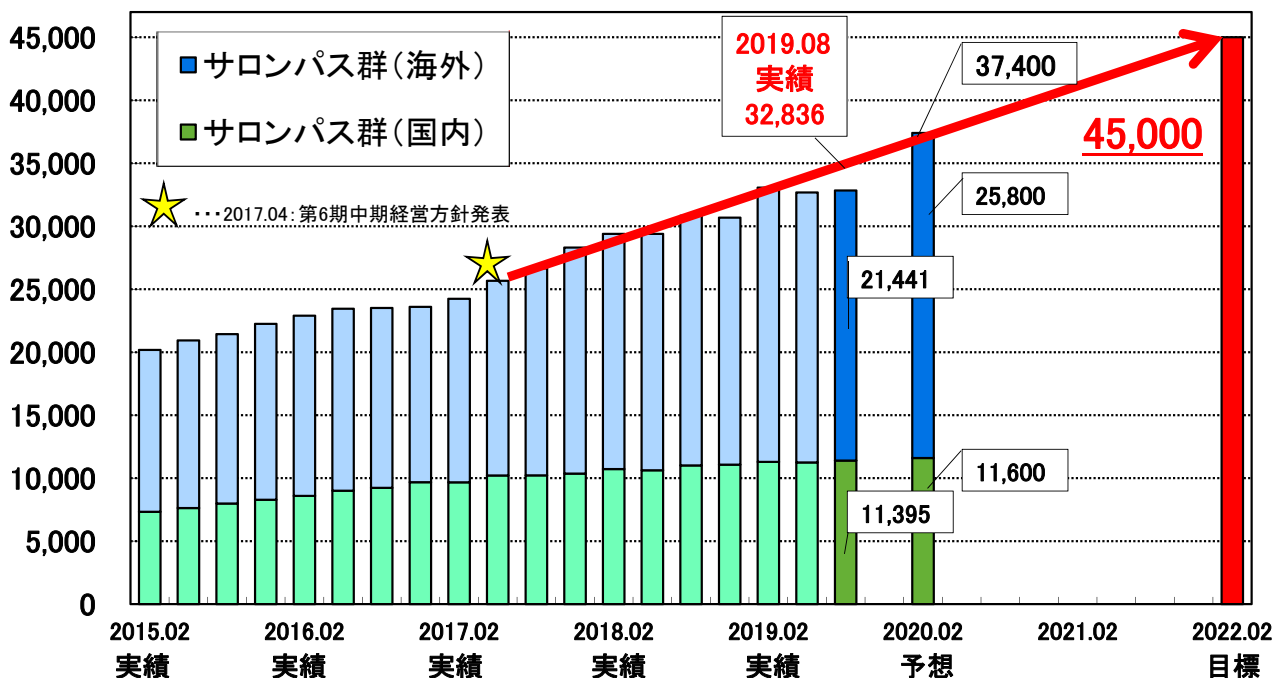
5

1. 2020年2月期第2四半期の振り返り(4)

<サロンパス群売上推移>

目標:2022年2月期に年間450億円

(移動年計:百万円)



貼付剤による治療文化を世界へ

6

2. 2020年2月期の進捗について

連結業績

単位:百万円

	第2四半期	通期	
	実績	業績予想	進捗率
売上高	63,401	143,500	44.2%
営業利益	10,190	22,900	44.5%
経常利益	10,641	25,500	41.7%
親会社株主に帰属する純利益	7,548	19,400	38.9%

※通期連結業績予想の変更はありません

貼付剤による治療文化を世界へ

7

3. 連結損益(1) - 第2四半期実績 -

単位:百万円

	2019年2月期 第2四半期実績	2020年2月期 第2四半期実績	増減額	増減率
売上高	69,400	63,401	-5,999	-8.6%
売上原価	26,130	22,892	-3,238	-12.4%
原価率	37.7%	36.1%		
販管費	32,024	30,319	-1,705	-5.3%
販売促進費	6,439	6,131	-307	-4.8%
広告費	6,229	6,551	+322	+5.2%
研究費	6,329	5,330	-998	-15.8%
その他	13,027	12,305	-721	-5.5%
営業利益	11,245	10,190	-1,055	-9.4%
経常利益	12,012	10,641	-1,371	-11.4%
親会社株主に帰属する純利益	9,158	7,548	-1,609	-17.6%

貼付剤による治療文化を世界へ

8

3. 連結損益(2) - 単第2四半期実績 -

単位: 百万円

	2020年2月期 単第1四半期実績	2020年2月期 単第2四半期実績	増減額	増減率
売上高	29,233	34,168	+4,935	+16.9%
売上原価	10,901	11,990	+1,089	+10.0%
原価率	37.3%	35.1%		
販管費	15,552	14,766	-786	-5.1%
販売促進費	2,987	3,144	+156	+5.2%
広告費	3,309	3,241	-68	-2.1%
研究費	2,978	2,351	-627	-21.1%
その他	6,276	6,028	-247	-3.9%
営業利益	2,778	7,411	+4,632	+166.7%
経常利益	2,863	7,777	+4,913	+171.6%
親会社株主に帰属 する純利益	1,913	5,634	+3,720	+194.4%

貼付剤による治療文化を世界へ

9

3. 連結損益(2) - 主な差異理由 -

単位: 百万円

	2019年2月期 第2四半期実績	2020年2月期 第2四半期実績	増減額	主な差異理由
売上高	69,400	63,401	-5,999	
売上原価	26,130	22,892	-3,238	・売上構成の変化
原価率	37.7%	36.1%		
販管費	32,024	30,319	-1,705	
販売促進費	6,439	6,131	-307	・日本では売上減少に伴い減少 ・海外では積極的な販促活動を実施
広告費	6,229	6,551	+322	・海外で積極的な広告を展開
研究費	6,329	5,330	-998	・PⅢ試験の終了
その他	13,027	12,305	-721	・のれん償却費用の減少
営業利益	11,245	10,190	-1,055	
営業外収支	767	451	-315	・為替差損の増加
経常利益	12,012	10,641	-1,371	
特別収支	208	-4	-212	
親会社株主に帰属 する純利益	9,158	7,548	-1,609	

貼付剤による治療文化を世界へ

10

4. 地域別売上高

単位: 百万円

		2019年2月期 第2四半期実績	2020年2月期 第2四半期実績	増減額	増減率
売上高		69,400	63,401	-5,999	-8.6%
医療用医薬品	日本	32,578	29,467	-3,110	-9.5%
	米国	8,066	6,577	-1,488	-18.5%
	その他地域	1,440	1,683	+243	+16.9%
一般用医薬品 ・ その他	日本	14,619	13,659	-959	-6.6%
	米国	5,836	5,972	+135	+2.3%
	その他地域	5,138	4,727	-411	-8.0%
その他事業	日本	1,720	1,313	-407	-23.7%

貼付剤による治療文化を世界へ

11

5. 商品別売上高(1) - 医療用医薬品/対前期実績 -

単位: 百万円

	2020年2月期 第2四半期実績			2020年2月期第2四半期の 対前年増減額			2020年2月期第2四半期の 対前年増減率		
	連結	日本	海外	連結	日本	海外	連結	日本	海外
医療用医薬品計	37,728	29,467	8,261	-4,356	-3,110	-1,245	-10.4%	-9.5%	-13.1%
フェントス [®] テープ	2,176	2,176	-	-475	-475	-	-17.9%	-17.9%	-
ネオキシ [®] テープ	313	313	-	-32	-32	-	-9.3%	-9.3%	-
アブストラル [®] 舌下錠	102	102	-	-2	-2	-	-2.1%	-2.1%	-
アレサガ [®] テープ	98	98	-	-4	-4	-	-4.2%	-4.2%	-
モーラス [®] テープ群	19,454	19,424	30	-1,351	-1,343	-7	-6.5%	-6.5%	-20.5%
モーラス [®] パッチ群	3,315	3,315	-	-412	-412	-	-11.1%	-11.1%	-
内、モーラス [®] パッチXR群	2,403	2,403	-	-258	-258	-	-9.7%	-9.7%	-
その他	4,400	3,888	512	-880	-989	+109	-16.7%	-20.3%	+27.1%
Minivelle [®]	1,656	-	1,656	-1,785	-	-1,785	-51.9%	-	-51.9%
Vivelle-Dot [®] 群	3,051	-	3,051	+707	-	+707	+30.2%	-	+30.2%
CombiPatch [®] 群	1,924	148	1,776	-247	+148	-396	-11.4%	-	-18.2%
Daytrana [®]	1,156	-	1,156	+47	-	+47	+4.3%	-	+4.3%
Noven その他	78	-	78	+78	-	+78	-	-	-

貼付剤による治療文化を世界へ

12

5. 商品別売上高(2) - 一般用医薬品・その他/対前期実績 -

単位：百万円

	2020年2月期 第2四半期実績			2020年2月期第2四半期の 対前年増減額			2020年2月期第2四半期の 対前年増減率		
	連結	日本	海外	連結	日本	海外	連結	日本	海外
一般用医薬品・その他 計	24,359	13,659	10,699	-1,235	-959	-275	-4.8%	-6.6%	-2.5%
サロンパス [®] 群	15,382	5,972	9,409	-224	+106	-331	-1.4%	+1.8%	-3.4%
サロンシップ [®] 群	1,636	1,207	428	-178	-141	-36	-9.8%	-10.5%	-7.8%
エアー [®] サロンパス [®] 群	907	671	235	-110	-48	-62	-10.9%	-6.7%	-20.9%
フェイタス [®] 群	3,169	3,169	-	+243	+243	-	+8.3%	+8.3%	-
プテナロック [®] 群	1,124	1,124	-	-103	-103	-	-8.4%	-8.4%	-
アレグラ [®] FX	644	644	-	-776	-776	-	-54.7%	-54.7%	-
その他	1,495	868	626	-84	-239	+154	-5.4%	-21.6%	+32.8%

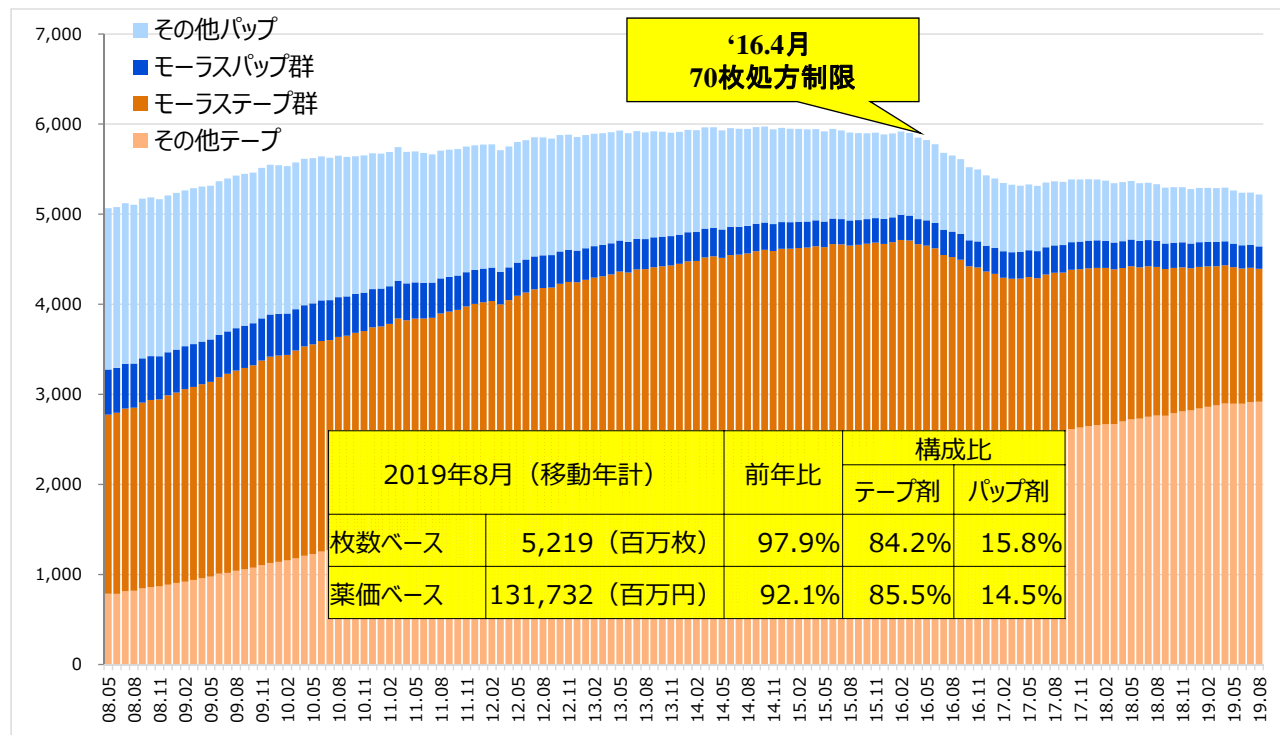
貼付剤による治療文化を世界へ

13

6. 国内医療用第2世代貼付剤の動向

(百万枚)

市場動向／枚数ベース



Copyright © 2019 IQVIA./JPMデータ期間～2019年8月をもとに作成/無断転載禁止

貼付剤による治療文化を世界へ

14

7. 研究開発パイプライン

	ステージ	テーマ名	対象	剤形	対象疾患名	次のステップ
1	承認	HP-3000	日	貼付剤	パーキンソン病	2019年度 発売予定
2	申請中	HP-1010 (後発品)	米	貼付剤	帯状疱疹後の神経疼痛	非開示
3	申請中	HP-3070	米	貼付剤	統合失調症	2019年度 承認予定
4	申請中	HFT-290 (オピオイド鎮痛剤未使用患者)	日	貼付剤	がん疼痛	2020年度 承認予定
5	申請準備中	HP-3150	日	貼付剤	がん疼痛	2019年度 申請予定
6	フェーズ3*	ATS	米	貼付剤	注意欠如・多動症 (ADHD)	2020年度 申請予定
7	フェーズ3 準備中	HP-3150	日	貼付剤	腰痛症	2019年度 フェーズ3開始予定
8	フェーズ3 準備中	HP-5070	日	経皮剤	原発性局所多汗症	2020年度 フェーズ3開始予定
9	フェーズ3 準備中	HP-3000	日	貼付剤	特発性レストレスレッグス症候群	検討中
10	フェーズ2	HP-5000	米	貼付剤	変形性膝関節症	2020年度 フェーズ3開始予定

* 大規模な有効性・安全性試験ではなく、使用性試験(ユーザビリティ試験)を含む4試験を実施

※黄色箇所：2019年7月10日の説明スライドからの変更箇所。

貼付剤による治療文化を世界へ

15

貼るを、未来へ。



TOKYO 2020



Hisamitsu®



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京2020オフィシャルパートナー(外用鎮痛消炎剤)



筋肉痛・筋肉疲労などに
第3類医薬品



肩こり・腰痛・筋肉痛に
第3類医薬品



肩こりに伴う肩の痛み、腰痛などに
第2類医薬品



筋肉痛・筋肉疲労などに
第3類医薬品